

株主優待

Shareholder Special Benefit

毎年9月30日を基準日に、「株主優待制度」を実施しています。

当社は業績に連動した配当を基本にしておりますが、当社株式への投資魅力を高め、より多くの方々に中長期的に当社株式を保有していただくことを目的として、9月30日を基準日とした株主優待制度を導入しています。

[制度の概要]

対象となる株主様

毎年9月30日現在の株主名簿に記載された、当社株式1単位(100株)以上保有されている株主様を対象といたします。

株主優待の内容

次のとおり、保有株式数に応じて、優待品を贈呈いたします。

保有株式数	優待の内容
100株以上 1,000株未満	選べる優待品 1,500円相当
1,000株以上 5,000株未満	選べる優待品 3,000円相当
5,000株以上	選べる優待品 5,000円相当

「オリジナルカタログ」 のお届け時期

毎年12月上旬に、普通郵便にて「株主優待のご案内(オリジナルカタログギフト及びお申込み専用はがきとセット)」「個人情報保護シール」を同封した封書をお送りします。



※各カタログの内容は変更される場合があります。

第73期報告書

自2016年4月1日 至 2017年3月31日

Engineering Professional

– Engineering

– Manufacturing

– Maintenance

– Trading

MUTUAL

証券コード：2773

ミューチュアル“互いに協力する共存の精神”

創業以来、守り続けてきた「共存共栄」の精神のもと、
人々の暮らしに欠かすことのできない医薬品、化粧品、食品などの
より安全で、より効率的な生産ラインをサポートし、社会の発展に貢献しつづけます。

4つの機能



当社グループは、創業当初の商社機能に加え、市場の要請に応える機能を順次構築し、現在は4つの機能を保持しています。しかしながら、時代は加速度的に変化し、求められる機能も変わるとともに、より高度な専門性が求められています。このような中、各機能が自律し、高次元で融合する新しい形の「共存」を創り出していきます。



代表取締役社長
榎本 洋

代表取締役会長
三浦 隆

時代に適したイノベーションにより、 成長への変革を期す。

当社グループは、医薬品業界を主たる事業領域とし、4つの機能をベースに成長してまいりました。近況においては、政府が進めるジェネリック医薬品の普及促進により、業績も堅調に推移しておりました。しかしながら、10年ほど前より潮目が変わりつつあります。国内機械メーカーの技術水準の向上、また、大手ゼネコンの参入など業界環境は大きく移り変わり、旧来存在していた垣根を越えて競争が激化しております。我々も変化していかなくてはなりません。4つの機能の融合によるお客様ニーズへの対応、言い換えれば、受注型ビジネスモデルを強化しながらも、各機能をより一層拡充し、その価値に基づく提案型ビジネスモデルへと事業の在り方を転換してまいります。この事業モデルを創り上げていく上で、4月より、各分野の専門営業部隊を創設しております。ミューチュアルは、このようなイノベーションを果敢に実施し、業界構造の変化に立ち向かってまいります。

2016年度の業績は堅調に推移いたしました、 2017年度は楽観できない状況。

当社グループを取り巻く経営環境

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度の経営環境につきましては、2020年度末までにジェネリック医薬品を数量ベースで約80%に引き上げる政府目標により、シェア拡大を目指す後発医薬品メーカーの設備投資計画が進行し、その受注を中心に需要は底堅く推移いたしました。しかしながら、薬価改定などの影響を受け、2016年の夏頃から投資を見直す動きが見られてきました。また、競争環境においても、生産施設からエンジニアリングまで一貫して請負えるゼネコンの攻勢や近年、実力をつけてきた国内機械メーカーの参入などにより、価格面等、受注競争が激化しております。こうした中、2017年度は楽観できない状況が予想され、お客様ニーズへ、より最適な総合的ソリューションを提供していくとともに、当社グループの競争力ある商品を創り出し、提案型ビジネスを推し進めてまいります。

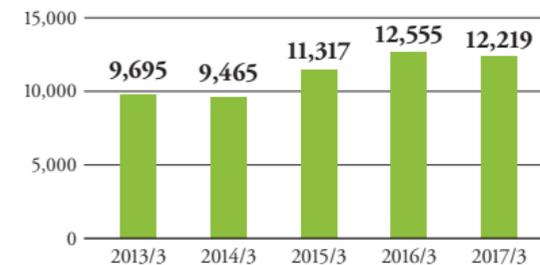
当期の業績

当連結会計年度の状況につきましては、営業人員を増強しオリジナル商品の拡販を図るとともに、新工場等の省力化を提案するエンジニアリング業務にも注力してまいりました。また、技術センター・関東工場において、製造能力増強に加え、品質向上、新製品開発に重点を置き、ユーザ対応の体制強化を図りました。

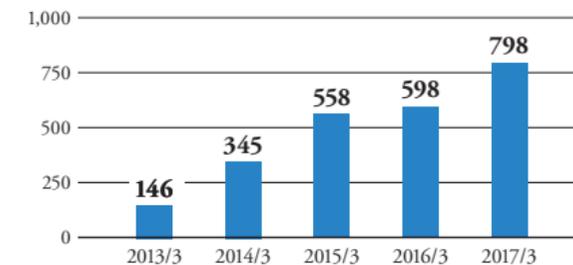
この結果、売上高は前期比2.7%減の122億円と概ね横這い

ではありましたが、利益面におきましては、販売費及び一般管理費の増加はあったものの、売上総利益率が4.3ポイント改善し営業利益が前期比33.4%増となりました。また親会社株主に帰属する当期純利益も、前期比33.6%増の798百万円となりました。1株当たりの配当金につきましては、前期と同額の25円とさせていただきます。

■売上高 単位:百万円



■親会社株主に帰属する当期純利益 単位:百万円



■1株当たり配当金 単位:円



各機能をベースにした「競争力のある新商品創り」と「メーカー化へのシフト」を加速

今後の戦略

当社グループを取り巻く環境は徐々に変化し、大きな転換点を迎えようとしております。医薬品業界の生産設備構築・運用が未成熟の段階においては、当社グループが提供してきた‘つなぐ力’が重要なものでした。いま、業界が成熟化し、尚且つ設備投資市場が伸び悩む状況においては、このつなぐ力を基にした受注型ビジネスでは企業の安定的成長が危ぶまれます。待ちの姿勢から攻めの姿勢へとビジネススタイルの転換が必要です。

このためには、当社が培ってきた4つの専門機能において高機能・高品質、生産性・効率化など他にはない差別化を図り、競争力の高い新商品を創り出していかなくてはなりません。エンジニアリング業務は、それ自体が売り物でなくてはなりません。アフター

サービスは受注のためのサービスではなく、その機能自体が売れることが必要です。

このようなビジネススタイルへの転換を図っていく上で、特に注力するのがメーカー機能の強化です。当社グループは、開発機能・製造機能を持ち、既に多くの優れた機械を上市しております。また、商社機能として、海外の優れた機械の販売代理店契約も結んでおります。これら、当社にしか売れないものを積極的に提案し、新しい需要を掘り起こしてまいります。このために2017年4月より、大幅な営業部隊の機構改革を実施いたしました。

ミューチュアルは変わります。各製品・機能を提案する専門営業部隊を組織し、ビジネススタイルを攻めに転換してまいります。

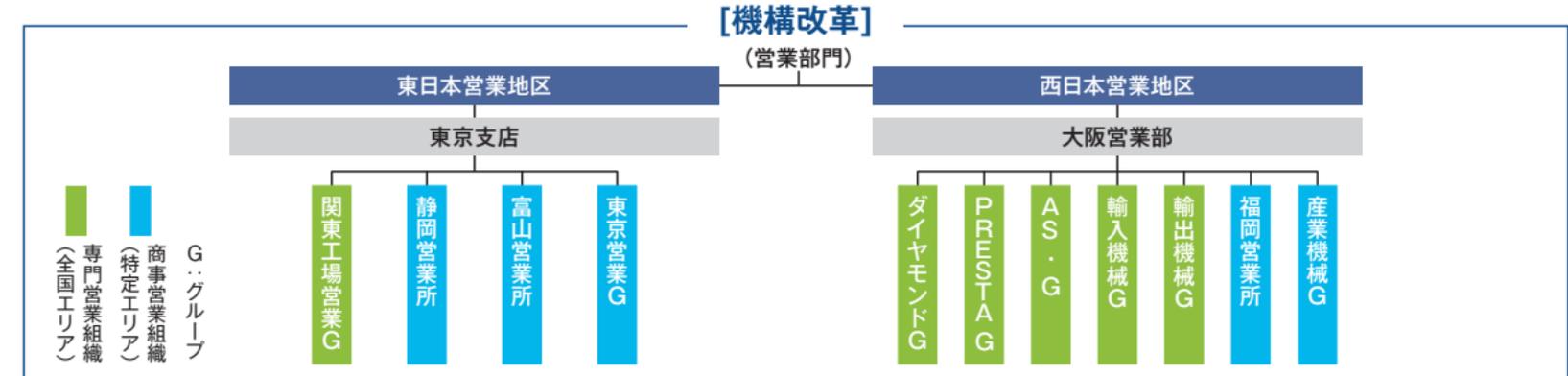
社長メッセージ



- 特集 - ビジネスモデルの改革

商社型営業に加えて 特別な営業部隊を創設

当社グループでは、従来の顧客対応型の営業部隊に加え、当社の製品・海外の独占販売権を持つ製品を提案していく専門の営業部隊を新たに創設いたしました。また、アフターサービス機能も2016年7月に独立させるとともに、エンジニアリング機能も独自に収益をあげる構造改革を進めています。この一連の機構改革により、顧客対応型の営業員の業務負担を軽減し、より充実した対応を可能にすると同時に、新規の提案型営業活動を推進していきます。



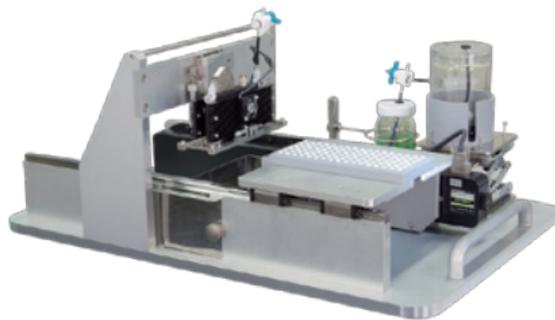
トピックス

新製品 ～期待の商品群～

IJ方式卓上型錠剤印刷機 IIM-Labo

インクジェットプリント方式を採用したカラー錠剤印刷検査機 IIM を、デザイン検討や治験薬・少量多品種生産向けに特化させたモデルです。

キャスト付きワゴンに搭載できるため移動自在であり、錠剤サイズを変更する場合、錠剤を挿入するポケットプレートのみ交換すればよいので、簡単に品種切替えができます。



ブリスター包装機 PRESTA-2000

多品種少量生産、とくに治験用小ロット生産に最適なモデルです。PRESTA6000同様に特許取得の成形加熱方式によってブリスターシートのカール軽減と省エネを両立、また、オペレーターの作業効率を考慮した高さを抑えたコンパクト設計となっています。

(第30回 インターフェックス ジャパン 出展に向けて製作中)



錠剤計数充填機 ICU-1-40

一般的な錠剤計数充填機とは異なり、画像処理による革新的な計数システムを採用、交換部品がないため多品種に対応し、錠剤の割れや欠けなどの検査を行ったうえで正確に容器に計数充填します。

また、生産データや画像の保存が可能であり、生産のトレーサビリティも含めた管理も可能です。



展示会

国際医薬品開発展 CPhi Japan2017



「原料」、「受託サービス」、「機器、装置」、「バイオテクノロジー」、「DDS/パッケージング」の5つをテーマとし、200を超えるセミナーが開催される専門性の高い展示会です。本展は年々規模を拡大しており、今回は国内外から512社が出展、会期中19,681人の来場がありました。

当社はHarro Höfliger社、Romaco Kilian社、Rommelag社3社それぞれと共同出展、セミナーを開催して多数の聴講者や小間への来場者を迎え、今後の販売促進に極めて有効な展示会となりました。

財務ハイライト

財務ハイライト		単位：百万円				
		2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3
売上高	連結	9,695	9,465	11,317	12,555	12,219
営業利益	連結	439	578	918	920	1,228
経常利益	連結	341	693	987	956	1,261
親会社株主に帰属する当期純利益	連結	146	345	558	598	798
総資産	連結	11,295	12,089	14,628	15,167	13,481
純資産	連結	7,406	7,579	8,142	8,701	8,694
発行済株式総数(千株)	単体	7,920	7,620	7,620	7,620	7,620

セグメント情報

事業別売上高		単位：百万円		
		2015/3	2016/3	2017/3
産業用機械事業		10,633	11,953	11,674
一連ライン		1,095	1,875	2,767
製剤機		394	2,032	907
充填機		1,855	2,344	2,167
検査装置		1,973	1,590	983
包装機		2,614	1,706	2,250
部品		801	807	942
改造・調整・修理		1,899	1,596	1,654
工業用ダイヤモンド事業		606	540	474
その他事業		76	61	69
合計		11,317	12,555	12,219

株主メモ

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
期末配当金の受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金の受領株主確定日	毎年9月30日
公告方法	電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることが出来ない場合は日本経済新聞に掲載して行う。
株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL. 0120-094-777(通話料無料)
------	--

同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行株式会社の電話及びインターネットでも24時間承っております。 TEL.(通話料無料) 0120-244-479(本店証券代行部) 0120-684-479(大阪証券代行部) インターネットホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/
------	---

※上記取次所においては、特別口座に記録された株式についてのみお取扱いしております。特別口座以外で株式を管理されている株主様は、口座を管理されている各証券会社経由でお願いします。

株式の状況 (2017年3月31日現在)

株式基本情報

発行可能株式総数	17,000,000株
発行済株式の総数 (うち自己株式数)	7,620,320株 (1,168,345株)
株主数	6,088名

大株主

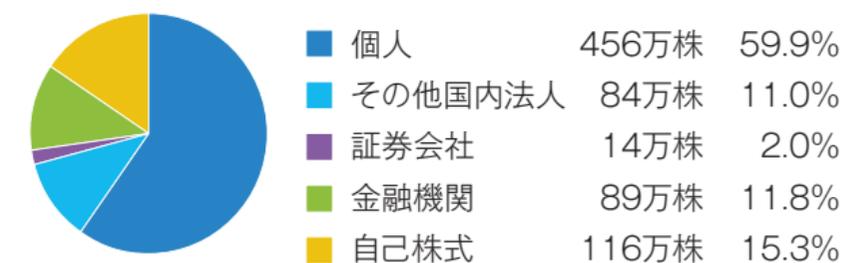
	持株数	持株比率
MTC社員持株会	471千株	7.3%
有限会社エム・ティ・シー開発	393千株	6.1%
株式会社三井住友銀行	322千株	5.0%
ミューチュアル取引先持株会	270千株	4.2%
株式会社三菱東京UFJ銀行	264千株	4.1%
三浦 隆	205千株	3.2%
三浦 雅子	199千株	3.1%
豊田 容梨子	174千株	2.7%
森崎 真規子	173千株	2.7%
三浦 浩一	151千株	2.3%

(注)持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株主分布状況



所有者別株式分布状況



会社情報

会社概要

(2017年3月31日現在)

社名	株式会社 ミューチュアル
会社設立	昭和24年(1949年)2月14日
資本金	6億6,970万円
本社	大阪市北区西天満一丁目2番5号
社員数	(連結) 163名 (単体) 122名
事業内容	自動包装機械及び関連機器の設計・ 製作・輸出入販売 設備ライン化のための機械設計及び製作 機械器具設置工事 工業用ダイヤモンドの輸入販売

役員

(2017年6月27日現在)

代表取締役会長 兼 CEO	三浦隆
代表取締役社長	榎本洋
取締役 常務執行役員西日本営業担当 兼 大阪営業部長	川島浩二
取締役 総務部長	吉野尊文
取締役(社外)	日比野俊彦
監査役(常勤)	住中秀和
監査役(社外)	北川和郎
監査役(社外)	中西清

事業所

(2017年4月1日現在)

本社	〒530-0047 大阪市北区西天満一丁目2番5号 大阪JAビル9階 TEL.(06)6315-8613 FAX.(06)6315-8618
東京支店	〒101-0041 東京都千代田区神田須田町二丁目11番 協友ビル9階 TEL.(03)5296-7071 FAX.(03)5296-0007
静岡営業所	〒420-0033 静岡市葵区昭和町10番6号 富士岡第1ビル3階 TEL.(054)255-4471 FAX.(054)255-4472
福岡営業所	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東二丁目4番17号 第6岡部ビル5階G室 TEL.(092)477-6751 FAX.(092)481-2461
富山営業所	〒930-0004 富山市桜橋通り5番13号 富山興銀ビル12階 TEL.(076)445-5257 FAX.(076)442-3338
大阪技術センター	〒595-0043 大阪府泉大津市清水町3番36号 TEL.(0725)21-1130 FAX.(0725)21-6970
東京技術センター 粉体ラボセンター	〒343-0822 埼玉県越谷市西方3129 TEL.(048)987-1751 FAX.(048)987-1752
関東工場	〒289-1144 千葉県八街市八街355-125 TEL.(043)440-0530 FAX.(043)440-0531

グループ会社

- 日伊包装株式会社
- 株式会社ウイスト
- Mutual (Thailand) Co., Ltd.
- 三晴精機株式会社